

令和4年11月実施

事業所名 たいむ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	53.3%	26.7%	0.0%	20.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスの方のトイレが狭く感じる ・曜日によってスペースが狭いと感じることがあるがベッド、机等移動してスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	80.0%	6.7%	0.0%	13.3%	・時と場合による
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	26.7%	26.7%	0.0%	46.6%	・具体的に取り組んでいるのかわからない
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33.3%	0.0%	13.3%	53.3%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66.6%	6.7%	6.7%	20.0%	・忙しくて行けない
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	93.3%	0.0%	6.7%	0.0%	・アセスメント表の更新がどのようにされているかわからない
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33.4%	20.0%	13.3%	33.3%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	73.3%	6.7%	0.0%	20.0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフそれぞれが意見を出し合い子どもが楽しめるように工夫している ・帰りの会は職員が交代して週番をすることで固定化せずできている

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	66.7%	13.3%	0.0%	20.0%	<ul style="list-style-type: none"> • その日の利用状況に柔軟に合わせ対応している • 平日は課題を細やかに設定することは難しい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	73.3%	6.7%	0.0%	20.0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 役割分担もバランスよくされている。打合せの場合もお互い意見が出しやすい雰囲気である
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	66.6%	6.7%	6.7%	20.0%	<ul style="list-style-type: none"> • 夕方出来ない時は翌日の朝礼時、振り返りを行っている • 終了後には難しいが朝礼時等に情報共有は行っている • 時短勤務のため終了後に不在
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	73.4%	13.3%	0.0%	13.3%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	73.3%	6.7%	0.0%	20.0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	33.3%	13.3%	0.0%	53.4%	<ul style="list-style-type: none"> • ガイドラインをどれくらい活用しているかわからない
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	6.7%	0.0%	26.6%	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	73.3%	0.0%	6.7%	20.0%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	66.7%	20.0%	0.0%	13.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 和こうとは情報共有できている • 児童発達支援事業所とは行えているが保育所等とはできていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60.0%	0.0%	6.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> • 情報共有できる準備はしてある
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	53.3%	6.7%	0.0%	40.0%	

関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0.0%	13.3%	26.7%	60.0%	・コロナ禍で今は機会がない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0.0%	33.3%	20.0%	46.7%	・参加したことがない ・機会が今年度なし
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0%	26.7%	13.3%	60.0%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80.0%	6.7%	0.0%	13.3%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	73.3%	6.7%	0.0%	20.0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13.3%	6.7%	20.0%	60.0%	・コロナ禍なかなか機会をもてない状況
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	73.3%	0.0%	0.0%	26.7%	
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86.6%	6.7%	0.0%	6.7%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13.3%	26.7%	26.7%	33.3%	・今年度ぴうば利用者の範囲で秋祭りを開催(コロナの影響もあり)。今後、地域を巻きこんでの行事も視野に検討していけるとよい ・コロナ禍難しい状況 ・コロナ予防のため
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40.0%	6.7%	6.7%	46.6%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	53.4%	13.3%	0.0%	33.3%	・訓練はまだだが必要物品の準備はしている ・職員間では防災について話し合い等行っているが子どもとは避難訓練(火災)のみ
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%	

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40.0%	6.7%	0.0%	53.3%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%

アンケート配布人数 15人 回収人数 15人 回収率100%

《 今年度の振り返りと評価 》

①当事業所の活動やイベント予定を事前に情報発信できる工夫を模索していきます

月間活動予定表で活動の様子や予定の情報発信を継続していることで、子どもやご家族も行事等の発信に対しては充足感を得られていると同時に楽しみにも繋がっていると感じています。今後も期待感や楽しみ溢れる利用になるよう工夫することやアイデアを出していきます。

②利用児童の特性の理解を深めると共に職員の質の向上を目指します

今年度、アセスメント用紙の一部を修正し、全利用者のアセスメントを改めて行いました。また、スタッフ間でアセスメントの確認や検討会を行ったことで子ども個々の理解をさらに深められました。4月からはリハビリスタッフが配置され、専門的知識や視点を共有することができています。今後は勉強会等充実を図っていきます。

③防災意識を高めると共に災害時に備え必要物品の準備等を進めていきます

センター全体及び通所部門で防災ミーティングを定期的に行っています。また、通所部門で防災新聞を発行し情報発信の取り組みを継続しています。新型コロナウイルス感染対策のため、子どもが参加する避難訓練は今年度も控える形となりましたが、職員で地震災害時を想定した避難訓練を行い、必要物品の確認や検討を行いました。今後も防災マニュアルの整理や情報発信の充実、訓練等実施に向け引き続き取り組んでいきます。

《 今後に向けての改善目標 》

①利用者個々の特性やライフステージに合わせた活動を企画実施していきます

専門的視点を活かし子ども個々の特性に合わせた活動を企画実施していきます。小・中・高や年齢相応に取り組める活動を企画実施していきます。

②職員間の連携の強化と支援の質の向上を目指します

様々な専門職が配置されている中、スタッフ個々の専門的知識や視点を活かすと共に、情報を共有し連携していくことで支援の質の向上に努めます。

③災害時に備え必要物品の準備や避難訓練実施に向け進めていきます

災害避難時に備え必要物品の確認や準備を進めます。また、防災新聞を活用し防災活動状況の発信を充実していきます。